



独自の発想で開発した高性能フィルター

エアフィルターなど環境対応製品で 快適空間を創造

フロンティア産業 株式会社

事業内容と沿革

大手家電メーカーからの 開発相談が転機に

空気清浄機やカーエアコン向けのエアフィルターが主力製品。創業は昭和43年で、当初は貸しガレージ工場で、掃除機など白物家電の防音材や断熱材を手がける。転機となったのは、松下電器産業(株)〈現パナソニック(株)〉からの高性能エアフィルターの開発相談で、「あらゆる素材を集め、試作を何度も繰り返して製品化にこぎつけた」と小田島進社長は振り返る。昭和60年に本格生産を開始。その後、工場と設備も増強し、同業他社に先駆けて量産体制を構築した。空気清浄機の需要が高まる中で、対応力と提案力であらゆるニーズに応えてきた。平成14年に中国浙江省杭州市に中国工場を完成。グローバル体制を構築し、現地の日系家電メーカーや自動車メーカーにエアフィルターを供給する。平成19年には24時間換気システムに貢献する住宅換気用熱交換エレメントを開発。現在、市場での浸透に力を入れる。平成21年に新設した滋賀工場(滋賀県大津市)は家電および自動車向けエアフィルターの組み立てのほか、住宅換気用熱交換エレメントなどを製造する主力工場で、平成28年1月には第2工場が完成する予定。

強み

濾材メーカーとの連携で 付加価値製品を供給

強みの1つは、さまざまな要望に応える“対応力”。これまで家電製品のエアフィルターを中心に数多く手がけてきたが、家電製品の場合、毎年のようにスペック変更が行われる。このような仕様変更などに対して、「品質」、「価格」、「納期」などすべての面で迅速に対応できるのが特徴で、小田島社長は、「長年にわたって家電メーカーとの取引で構築されたもの」と胸を張る。多品種少量生産も含めて、その対応力に絶対の自信を見せる。また、もう1つの強みは、新製品開発や機能向上のための“提案力”で、その的確さには定評がある。エアフィルターは、空気中のゴミや塵埃といった微粒子を取り除くものだが、まずは性能として微粒子の捕集力が問われる。開発には細かい穴のあいた多孔質(濾材)が用いられるわけだが、濾材メーカーとの連携により相手が求めるフィルターをいち早く提案することができる。また場合によっては、A社とB社の濾材を組み合わせ提案する。濾材メーカーの担当者や納入先の技術者との情報交換も綿密にすることで、品質重視の開発を進めるほか、そこに“脱臭”や“除菌”といった機能も付加して、独自性の高い製品に仕上げている。



熟練の技でエアフィルターを組み立てて行く



熱交換エレメント製造ライン



本社



主力の滋賀工場

- 企画・提案
- 試作・受託
- 短納期対応
- 多品種少量
- 量産対応
- コスト相談
- オンライン
- 海外対応

カドマイスターの取り組み

大手電機メーカーのOB活用で 研究開発力を強化

試験担当者も含めて研究開発に携わっているスタッフは約10名。特徴は、大手家電メーカーのOBを積極採用している点で、「我々の力だけでは限界もあり、OB採用は技術力や専門知識の向上につながる」と小田島社長は語る。そのほか共同研究も精力的で、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の省エネルギー革新技術開発事業「^{そうけいしつけがん}稚内層珪質頁岩デシカント換気空調・総合型ヒートポンプシステムの研究開発」プロジェクトに参画する。これは空調システムの高効率化を図るデシカントローター(除湿ローター)を開発するもので、デシカントローターの量産化に道筋をつけた。また、家庭用デシカント空調統合ヒートポンプシステムと、中小ビル用デシカント換気空調装置も開発済み。現在、滋賀工場で実証実験が行われている状況で、「周辺機器などにおいてエレメントやエアフィルターなどが必要となるので、新しい展開も生まれてくる」と期待を膨らませている。

依頼に対して
レスポンスの早さが強み



代表取締役社長
小田島 進さん

「快適空間をつくる、アイデアのフロンティア」をスローガンに掲げ、「モアクリーン」、「モアエコロジー」、「モアサイレンス」をキーワードに、エアフィルター、省エネ・エコロジー推進製品、防音・吸音製品の開発を進めています。「品質は人にて決まる。人の心に基礎あり」を経営方針とし、従業員一人ひとりに環境問題への自覚を促し、モラルの高い社会人としての育成を実践しております。強みである対応力や提案力の早さに磨きをかけ、快適空間を創造する企業としての存在価値を高め、製品を通して社会に貢献していきたいと考えます。

主な事業内容

家電・自動車・住宅用エアフィルター、防音・吸音製品などの製造

主な取引先(納入先)

家電・自動車・住宅設備・OA機器メーカーなど

【住 所】〒571-0012 大阪府門真市江端町6-7
【T E L】072-882-7601
【F A X】072-885-1216
【創 業】昭和43年5月 【設 立】昭和55年5月
【資本金】1,000万円 【従業員】130名

今後の展開

滋賀工場の生産強化で 住宅・自動車分野に攻勢

平成27年4月期の売上高は前年度比4.5%増の約23億円。製品別での内訳はエアフィルター製品70%、防音・吸音製品20%、省エネ・エコロジー推進製品10%。業界別では家電向けが70%となっており、住宅や自動車分野でのシェア拡大が今後のテーマとなっている。そういった中、平成28年完成予定の滋賀第2工場はその布石で、熱交換エレメントと自動車向けエアフィルターの生産を強化する。投資額は、設備も含めて約3億5000万円の計画で、約200坪の敷地に3階建ての建屋を建設する。最新鋭の機械も導入して自動化も追求する。その一方、これまで自社製品として展開していた換気ユニットについては販売面で一区切りつける。小田島社長は「ある企業からその製品に搭載していた全熱交換エレメントを供給してほしいという依頼があった。完成品の販売展開は一端中断し、部品メーカーに徹することで経営効率を高めていく」としている。

<http://www.a-frontier.co.jp>

